

議会だより



中土佐町

No.52

平成31年2月25日発行

12月定例会
第3回臨時会



■一般会計補正予算を訂正 2

■傍聴規則を改正 3

■7人の議員が一般質問 5

今回の主な内容

- 平成30年12月定例会・第3回臨時会
 - 議案審議 2
 - 主な議案と議員の賛否 4
 - 一般質問 5
 - 委員会活動報告 13
 - 行政報告 14
- 追跡・声 15
- 議員の活動状況 16
- 地域で頑張る仲間 18

12月定例会・第3回臨時会

案議
議審

一般会計補正予算を訂正 移住体験住宅整備工事費を減額

平成30年12月定例会が、12月7日から14日までの8日間の日程で行われました。

開会日の7日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

11日/12日は一般質問（P5から関連記事）が行われ、7人の議員が町の課題を執行部に問いました。14日には議案の審議が行われ、町長提出の議案10件を可決、1件を同意としました。そして、委員会提出の「公共事業等における国産材（地域材）の利用推進を求める意見書」「傍聴規則の一部改正」を可決し閉会しました。

12月定例会に先立つ11月5日には第3回臨時会が行われ、上ノ加江公民館撤去工事費にアスベストの処理費など129万円が追加された一般会計補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の訂正

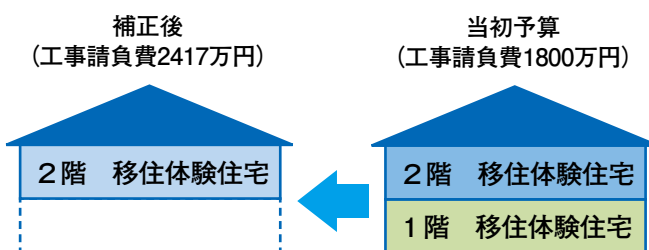
「議案第59号の訂正の件」は、12月定例会開会日に提出された「一般会計補正予算（第6号）」に計上されていた移住体験住宅事業関連予算（補正分）を減額するものだ。これは旧風工場の建物

を移住体験住宅（2戸1800万円）に改修する目的で当初予算に計上されていたものだ。これに今回の補正で617万円が増額され工事費が2417万円（2階部分に住宅1戸）となるというものだった。

予算案提出後の全員協議会で、議員から「この金額であれば2軒を新築

できるのではないかな」等の懸念の声が相次いだ。執行部も検討不足が判明し、再考の必要があると判断したものだ。議員からの異議はなく、訂正は許可された。

＜最初に提案されていた移住体験住宅への改修の予算＞



全員協議会
議案の審査、または議会運営等の協議・調整を行うための場

移住体験住宅
移住希望者に対し移住前に「田舎暮らし」を体験してもらう住宅

町が出資した法人の経営状況の議会への報告

地方自治法第243条の3第2項

～略～ 法人（注1）について、毎事業年度、政令で定めるその経営状況を説明する書類（注2）を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

地方自治法施行令第173条第1項（政令）

～略～ 経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

（注1）

地方公共団体が2分の1以上出資している株式会社 他

（注2）

【名古屋市の自治省（現総務省）からの回答（S38.5.21）】

- 1 事業年度開始前のものは事業計画、予算等に相当する書類。事業年度終了後のものは貸借対照表、損益計算書、事業報告書に相当する書類。
- 2 事業計画、予算等は法による作成義務はないが、拒否されたときは、長は、これに代わる書類の提出を求め、または自ら調査すべきである。
- 3 総会取締役会等の承認を得たものでなければならない。（名古屋市の問い合わせと自治省の回答を混在させて概要を掲載）

経営状況の報告

り行われた。

「報告第12号株式会社SEAプロジェクトの経営状況の報告について」に対し質疑が行われた。採決がない「報告」には、本来質疑は行わないが、地方自治法施行令に規定する事業計画等の書類の提出がなかったため、議員からの申し入れにより行われた。議員からは書類の提出がなかった理由、（株）SEAプロジェクトが運営に携わる「鰹乃國水産」の勘定科目を問う質疑があった。執行部からは、未提出の書類は、株主総会の承認を得ていないと答弁があった。「鰹乃國水産」の勘定科目の件には、明確な答弁がなかった。

(株)SEAプロジェクト 経営状況の報告に質疑



移住体験住宅への改修が計画されている旧風工房。左下が道の駅に移転した現在の風工房

公共事業等における国産材（地域材） の利用推進を求める意見書

昨今、木材利用の形態の変化や木材価格の低迷により、森林所有者による適切な管理がなされない森林が増え、森林の持つ機能を保つことが難しくなっています。こうした中、木材利用拡大のため、国産材の利用による林業・木材産業の再生には更なる取り組み、推進の強化が必要になっています。CLTの普及などの新たな技術により、木造建築の可能性は高まっており、公共事業等での木材活用をさらに推進し先導することが求められています。

このため、木材利用促進のための施策を講じるよう地方自治法の規定により、国に対し意見書を提出したものです。

議会傍聴規則の改正

今までは、傍聴においでの方に「傍聴人受付簿」に、お名前・ご住所を記入していただいていたものを、個人情報保護の観点から、今後は「傍聴人受付票」に記入の上、受付箱に投函していただくように改められました。

議会はどなたでも傍聴できます

3月定例会日程（予定）

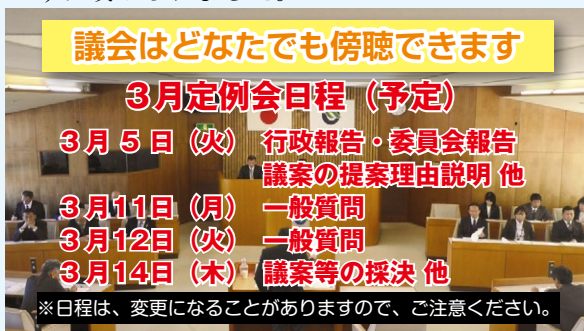
3月5日（火） 行政報告・委員会報告
議案の提案理由説明 他

3月11日（月） 一般質問

3月12日（火） 一般質問

3月14日（木） 議案等の採決 他

※日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。



私は、賛成・反対 しました。

《第3回臨時会の主な議案と議員の賛否》

○・・・賛成 ●・・・反対 /・・・議長

議 員 名	黒原 昭一	山本 建生	山下世仁子	岡 伊三男	本井 康介	松下 裕之	下元 道夫	佐竹 敏彦	窪田 和教	高橋 雄造	福永 守恭	中城 重則	可 否
審議した議案等													
平成30年度一般会計補正予算（第5号） ※教育費129万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	/	可決

《12月定例会の主な議案と議員の賛否》

辺地に係る総合整備計画の変更 ※平成29年作成の大野見北地区に関する計画に農道整備と四万十源流の里の施設改修を追加するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
公共施設移転等事業 移転用地整備工事請負変更契約の締結 ※法面や河川護岸への安全対策の追加、国道接続部の構造変更等により1520万円を増額し、8億2156万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
非常勤特別職の報酬・費用弁償条例改正 ※文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に指定された「久礼八幡宮御神穀祭」の記録作成等のため組織する委員会委員の報酬を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
一般職の職員給与条例改正 ※人事院勧告、国・県の取り扱いに準じ改定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
文化財保護条例の全部改正 ※指定・解除要件、管理義務や保存への指導助言などの取扱いを整備し、文化財保護の体制を整えるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
平成30年度一般会計補正予算（第6号） ※災害復旧費等2億546万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ※保険給付費5600万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） ※歳入歳出それぞれ80万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号） ※歳入歳出それぞれ138万円を減額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
平成30年度簡易水道事業会計補正予算（第1号） ※水道事業費用8万円を増額し、資本的収入2万円を減額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	可決
教育委員会の委員の任命（中沢建夫氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	同意

会議録をご覧ください。

インターネット中継映像や音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。会議録は議会事務局、または中土佐町ホームページから議会のページに進むとご覧いただけます。

議員がどこへでも出張する 議員出張懇談会

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。
ご希望がある場合は、お問い合わせください。

議会に対するご意見などを募集しています。

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

議会の様子をスマホやパソコンで

スマートフォンやパソコンで議会の様子が視聴できます。平成28年以降の過去の映像もご覧いただけます。



※データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合は、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

お問い合わせなどはこちらへ

中土佐町議会事務局

〒789-1301 中土佐町久礼6602-2

TEL52-2410 FAX52-4850 E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp

一般質問

～町政を問う～

12月11日／12日の2日間、一般質問が行われ、7人の議員が防災対策、水産業の振興、道の駅の運営など町の諸問題を取り上げました。



山本 建生 ……P 6

- 長沢川の防災対策は
- 避難タワーは大丈夫か



福永 守恭 ……P10

- まち・ひと・しごと総合戦略における農林漁業の評価結果は
- 企業・事業所に支援を



下元 道夫 ……P 7

- 大野グラウンドの再整備構想の再検討を
- 各漁協の振興策は



本井 康介 ……P11

- 道の駅の今後の展開は
- 大野グラウンドの再整備計画に不安要素



窪田 和教 ……P 8

- 町の森林資源を生かせ
- がけ崩れ対策に町補助を



佐竹 敏彦 ……P12

- 道の駅、温泉の活用を
- 通学生にヘルメットを



高橋 雄造 ……P 9

- 堤防の補強工事は
- 国土調査の状況は

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。



山本 建生

長沢川の防災対策は

河川水位計の設置を要望

問 長沢川に隣接して、住宅があるし、農業ハウス・工場もある。

川が氾濫したらJRの線路から上流域が浸水する。防災は非常に重要だ。久礼中学校の裏山が崩れる心配をしている。崩



ヨシが生い茂り、河床も上がってきた長沢川
(久礼保育所用地造成付近)

れたら川をせき止める危険がある。隣接地では保育所の用地造成をしているが影響はないか。また、かなりの部分でヨシが生え河床が高くなっている。山やヨシの状況をどう把握しているか。

の維持管理を県に要望している。
問 今までは（大きな被害は）避けられたが、今後、豪雨災害の可能性もある町としての対応も必要ではないか。

鍋嶋建設課長 久礼中学校北側斜面は以前に崩壊し、県が復旧・治山・護岸整備工事を実施した。定期点検も実施しており、崩壊リスクは高くないが、今後状況を注視していきたい。

鍋嶋建設課長 長沢川は町の地域防災計画にも記載している。左岸は危険区域にもなっており、事業導入を県に強く要望している。豪雨状況把握のための河川水位計の設置も要望している。

避難タワーは大丈夫か

大型カツオ船の衝突も考慮

問 避難タワーは船の直撃に耐えられるか。液状化の心配は。収容定員・耐用年数は。老人・障がい者の避難サポートは。

池田町長 本町の避難タワーが最強と思っているが、逃げられるならば小学校へ逃げていただくのがベストと考えている。



平田総務課長 連絡橋を含め津波に耐えられる設計だ。大型カツオ船の衝突も考慮している。液状化の可能性は低い。収容定員は400人で耐用年数は40年だ。要支援者の避難は、自主防災組織や地域での助け合いが重要だ。地域を挙げて避難するようサポートしていく。

余裕のある人は小学校へ逃げるよう啓発していきたい。

問 避難タワーが安全なら「町が責任を持つので地震の時は即タワーへ」という意識をつくる取り組みが必要ではないか。



設計上は、カツオ船の衝突にも耐えられるとされる津波避難タワー

道の駅の防災対策は

問 南海トラフ地震では道の駅には真っ先に津波が来る。犠牲が出れば訴訟問題の可能性がある。道の駅の防災体制や避難をどう考えているか。

池田町長 避難訓練をやっているので迅速な避難誘導は可能と考えている。

その他の質問

▼不要農機具の活用を

大野グラウンド

再整備構想の再検討を

各方面の意見を聞き検討

問 大野グラウンド再整備構想の経緯は。

今橋教育次長 学校でのクラブ活動等、安全なスポーツ活動を行うため、最低必要な面積を有する施設整備が必要と考えている。関係者からの要望もあり企画するに至った。

問 レベル2（東日本大震災クラスの巨大地震）の南海トラフ地震での大野地区の想定津波高は。

平田総務課長 津波高は13メートルとなっている。

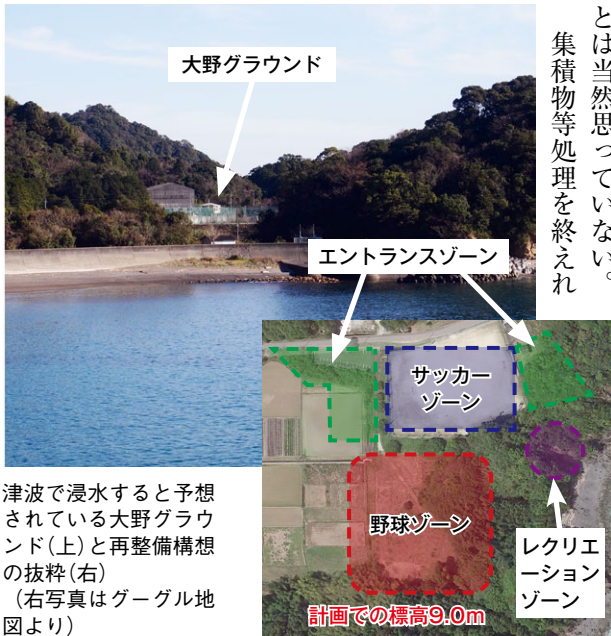
問 現在、高台にある学校のグラウンドに（必要な数の）仮設住宅は建てられるのか。

平田総務課長 仮設住宅は、全ての小中学校で足りるとは当然思っていない。集積物等処理を終えられ

問 （大野グラウンドの）事業費は、6億7千万円のお金を投資する。再度住民や議会の意見も聞き他の候補地で適切などころはないか。協議しながら進めていくべきではないか。

岡村教育長 各方面からのさまざまな意見をいただきながら、今後検討していきたい。

ば、浸水地でも仮設住宅の検討ができると思っている。



津波で浸水すると予想されている大野グラウンド(上)と再整備構想の抜粋(右)
(右写真はグーグル地図より)

漁協別水揚げ量・水揚げ高

漁協名	項目	平成28年度 (3月末まで)	平成29年度 (3月末まで)	平成30年度 (11月末まで)
久礼漁協	水揚げ量 (kg)	569,274	668,303	702,973
	水揚げ高 (千円)	341,099	387,288	322,390
	カツオの割合が90%以上			
高知県漁協 上ノ加江支所	水揚げ量 (kg)	5,665	6,820	5,023
	水揚げ高 (千円)	22,472	21,192	9,597
高知県漁協 矢井賀支所	水揚げ量 (kg)	7,226	5,744	漁協事務員不在のため不明
	水揚げ高 (千円)	7,833	7,082	2,473

※ただし、久礼、上ノ加江、矢井賀漁協に水揚げされた額です。

各漁協の振興策は

今後とも積極的に行う

問 久礼、上ノ加江、矢井賀漁協の振興策は。

竹邑水産商工課長 久礼は、水揚げの9割以上がカツオ船で占められている。現在の5隻が4隻になりそう。加えて後継者がいない船が2隻ある。上ノ加江は漁獲高が年々減少している。体験漁業は順調だ。

矢井賀も後継者不足であり漁獲高も減少している。観光釣りイカダは順調

調に推移している。漁業振興策は今後とも積極的に行っていきたい。

鰹乃國水産は

問 平成27年に鰹乃國水産が開業した。現在は1人体制になった状態が続いているが。

竹邑水産商工課長 鰹乃國水産の加工部門の切り手を募集するが、なかなか見つからない。販促活動は十分に行っており、受注にこたえる体制が整っていれば今以上の数値は残せた。打開策を検討している。

地産地消と外商は

問 地産地消の売上高、外商の商談成立件数と売上高は。

竹邑水産商工課長 地産地消の実績は合計で1024万円だ。外商は、これまで具体的な商談を実施していない。

下元道夫



窪田 和 教

町の森林資源を生かせ

百年の森をつくりたい

に取り扱っていく。

源を生かす考えは。

問 森林経営管理法は、戦後の林業政策を根本から変える内容だ。受け止めは。

西田農林課長 前向きにはとらえているが、人員やノウハウ、森林情報、担い手など不足しているものも多く、安易に取り組める状況にない。

問 林野庁長官は、「森林所有者に必ずしも利益の還元を受けられることが保証されていない」と述べている。町が仲介したが、山主には、はげ山と固定資産税だけが残ったということになりかねない。慎重に進めるべきだ。

西田農林課長 経営管理の集積計画の策定には非常に課題が多いため、慎重



山で切られた木材が集められてくる県森連の共販所



豊富な森林資源が眠る本町の山々



崖が軒先に迫る民家

問 50年から55年の人工林の皆伐を進めるものだ。しかし、森としてよみがえるには50年以上かかる。形だけの再造林では山の荒廃や水源涵養機能の低下も懸念される。大野見の木材は全国に誇れる宝だ。林業の転換点に立った段階で、本町の森林資

池田町長 皆伐後の再造林には侵食被害、シカの被害の問題もあり、慎重な対応が必要だ。林業経営は一朝一夕にはいかないで、いましばらく考えていきたい。

町有林もずっと保全している。百年の森をつくりていきたい。

がけ崩れ対策に町補助を

町独自の事業を検討

問 時間雨量が100ミリを超え、それも長時間に及ぶことが各地で起きている。家の裏が崩れるのではないかと不安の声を聞く。所得や年齢の制限があるが、日高村や四十町では独自の小規模ながけ崩れ対策の制度があり応募が多い。小規模ながけ崩れに対応する町独自の支援策を求める。

鍋嶋建設課長 県の(事業)採択基準に合わない箇所での要望が今まで以上に発生すると推測される。

町独自の補助事業が創出できないか検討する。

その他の質問

▼予算・入札差金は



高橋 雄造

堤防の補強工事は 修繕計画に基づき実施

問 津波高潮対策での堤防の補強工事の現状と今後の取り組みは。

鍋嶋建設課長 笹場海岸の補強工事は本年度で事業完了予定だ。海岸堤防の点検結果は、「要監視」が4カ所、

「予防保全」が5カ所となっている。今後の工事は、点検評価により策定された各海岸での修繕計画に基づき実施される。

要監視

施設の防護機能に影響を及ぼす程度の変状はないが、変化が進展する可能性があるため、監視が必要であるもの。

予防保全

防護機能に対する影響につながる程度の変化が発生し、修繕等の実施に関し適切に検討が必要とされるもの。

池田町長 海岸堤防の保全を粘り強く県に訴え、町村会としても国土交通省に対して引き続き声を上げていく。



津波高潮対策で粘り強い構造に改修されたふるさと海岸付近の堤防（平成28年完成）



工事が進む笹場海岸の堤防工事

国土調査の状況は

大野見地区は調査済み

問 森林経営管理法が施行される。（土地の境界が分らないといけないが）国土（地籍）調査事業の各地区の調査状況は。

鍋嶋建設課長 森林経営管理法に係る山林部の調査は、大野見地区は調査済み。現在の調査は久

その他の質問

▼庁舎移転後の公共施設の在り方は



国土（地籍）調査の現場（1月8日の作業の様子）



福永守恭

まち・ひと・しごと創生総合戦略 農林漁業の評価結果は

農5, 林5, 漁4人が就業

ひと・まち・しごと創生
総合戦略監視
人口急減・超高齢化と
いう直面する大きな課題
に対し、各地域がそれぞ
れの特徴を生かした自律
的で持続的な社会を創生
することを目指す計画。

問まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、「漁業を目指す後継者の育成」「林業に関する雇用の促進」「人材育成と設備投資の支援」、農地の保全と専業農家の担い手の育成を図るための「新規就農者に対する支援」の評価結果は。

下元企画課長 漁業を目指す若者の受け入れは、平成27年度から平成31年度の計画終了までに7人の新規就業者を確保するこ

とを目指しており、平成29年度までに4人が就業している。

林業では、須崎地区森林組合管内の林業新規雇用者を、毎年2人確保することを目標としている。平成29年度までに5人となっている。

農業では、12人の新規就業者の確保を目指している。実績は5人が就業している。

池田町長 地域おこし協力隊のようにある程度政府資金を活用しながら地域に根差した取り組みをしていく。最終的には起業するような方々を公募したい。この方たちを、みんなで一緒に頑張って地域の宝として育て、プレイヤーになっていただく取り組みが必要であると思う。



平成29年に新規就農し、ミニトマトを栽培している町田真之介さん(39歳):大野見奈路のハウスで

企業・事業所に支援を

高台移転・規模拡大に支援

問町内の雇用の場となっている企業や事業所に対し、「高台工業用地の整備」「新規地場産業の育成」「事業の拡大・技術の習得」などへの支援の考えは。

認識している。

津波対策として高台移転を考えている企業や、企業として規模拡大に取り組みところには支援を行っていききたい。

竹邑水産商工課長 雇用の場となっている企業・事業所への支援策は重要と

町単独で産業振興事業補助金を構えている。企業や事業者へ積極的な支援を行っていきたいと考えている。



地元の人が多く雇用されている高知精工の工場(大野見大股)

道の駅の今後の展開は

温泉の足湯を集客に

問 株式会社SEAプロジェクトの決算報告があったが、どのように分析したのか。また、次期に向けての考え方、具体的にどういったことを中心に事業を展開するのか。

た。要因は、開業初年度という特殊事情や公的経費で支出する施設の指定管理料も含め、この利益につながったと考えている。

次期に向けては、今の取り組みを継続していく。新港に掘った温泉を集客に結び付けるため、足湯を配置しようと計画している。

鯉乃國水産は

竹邑水産商工課長 初年度であったため、各準備に臨時経費等も多かった。また、この夏に相次いだ台風や豪雨により観光消費マインドが低下し、当初想定していた繁忙期の収益が確保できなかった。しかし、最終的には548万円ほどの純利益がで

問 鯉乃國水産は、これまでの実績がいつまでも続くとは大変だ。次年度も引き続きやっていくのか。

池田町長 なかなかビジネスモデルにつながっていない。新年度に向けて（運営会社を）新たに一般公募する。

本井康介

大野グラウンド

再整備計画に不安要素

新しい場所確保が難しい



新たな展開として足湯の計画がある「道の駅なかとさ」

問 大野グラウンドの今後の計画と状況を聞いた。スポーツ振興や健康増進に加えて防災機能の面でも造るべきと思う。しかし、大野という立地・内容・予定の高さ、また事業費にも大きな不安要素がある。町長・教育長の思いは。

岡村教育長 のびのびとできる広さのグラウンドはどうしても必要だ。新しい場所を確保するのが難しい状況であるため、現

在の大野グラウンドの再整備になった。多面からのご意見を伺いながら進めていけたらと思う。

池田町長 町に専用グラウンドがないことが大きな課題として残っている。開発には、さまざまなハードルがある。解決していくためには、都市公園として新たに整備する考え方も必要だ。一刻も早くグラウンドを整備したい。防災的な機能を持たせていくという考え方は持っていない。

避難訓練への参加者増を

問 避難訓練への参加者が年々減っている状況だが。

平田総務課長 参加者を増やすためにも良い方法がないか検討中だ。

街路灯から防犯灯への切り替えは

問 街路灯から防犯灯への切り替えがされているが対策は。

平田総務課長 老朽化に向けて補助金を、これから探していくという現状だ。



再整備が検討されている大野グラウンド



佐竹敏彦

問 海をキーワードにした「道の駅なかとさ」の発展・向上のためには、何らかの仕掛けがある。凍結中の温泉活用を考えると無理なところがある。

竹邑水産商工課長 道の駅の付加価値を高める手段として、足湯を検討中だ。掘削深が1500メートル、泉質はナトリウム塩化炭酸水素塩泉で俗に美人の湯と言われる。「美人の足湯」の命名もいいのではないか。相当なPR効果が生まれてくる。

道の駅、温泉の活用を

相当なPR効果がある



足湯への利用が計画されている温泉の取水口

通学生にヘルメットを

学校でアンケート実施

問（自転車での）通学生へのヘルメット補助が県議会で成立し、予算化される。



自転車通学する久礼中学校の生徒

ヘルメットは子どもを守るということとで大事なものだ。町として補助制度をどのように考えているか。

岡村教育長 県は中高生を対象に一人1000円を上限として補助する。町も小中学生を対象に2000円を補助したい。

自転車保有者は小学生227人、中学生は123人いるが、早急に学校で「購入予定アンケート」を取る。

御神穀祭を持続可能に

問 久礼八幡宮は、久礼・上ノ加江の総鎮守だ。氏神として、足利義満の時代に関東から勧請と伝わる。御神穀祭は五穀豊穡、安寧を祝う儀式として始まった。現代で言う経済発展、平和を願う行事だ。かつて、たいまつは上ノ加江や安和からも出ていた。地域コミュニティの核だったが、いまは久礼だけになっている。文化庁の「記録作成の

措置を講ずべき無形の民俗文化財」として取り組みが進められている。御神穀祭は、地域の歴史・伝統・文化だ。何とかして復活したいという声がある。

持続可能な仕組みづくりが提言できる第三者を交えた組織がつかれないか。

岡村教育長 趣旨はよくわかる。行政として積極的に特定の宗教団体や宗教に優先権を与えることは憲法に抵触する。できるかどうか検討していきたい。

その他の質問

- 外国人に対する町の姿勢
- 行政懇談会は
- 学校統廃合・旧廃校施設の運営方針は
- 自由と民権

委員会活動報告

12月定例会の初日（12月7日）、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

総務常任委員会

集落で太陽光発電システム設置

集落活動センターなどを調査

大野見集落活動センターの活動と豪雨時の危険箇所の調査および公共交通の調査をした。

「集落活動センターみなみ」では、事業・福祉・活性化の3部会で活動しており、月1回の弁当の配食・道路の草刈などをしている。太陽光発電システムの設置が予定されており、今後百万円ほどの収益が見込まれる。これを事業参加者への資金の支払いや、若者が参加する組織づくりに充てると報告を受けた。

防災の調査では、豪雨災害危険箇所の説明を受けた。委員からは、日ごろから避難場所の周知や



大野見南地区の地域活動の拠点となる「集落活動センターみなみ」

情報発信の在り方を検証し、改善するよう求める意見が出た。
公共交通の調査で利用者が平成28年度をピークに減少していると説明を受けた。コミュニティバスには新規路線や休止路線の復活の要望もある。住民のニーズに合った利便性の高い公共交通の維持を求めた。

産業建設常任委員会

山口県・広島県の道の駅を視察

災害被害箇所・道の駅を調査

上ノ加江押岡、久礼川崎地区の被害箇所の現地調査を行い、建設課と農林課から聞き取り調査を行った。

11月6日／7日には山口県・広島県の道の駅を

視察し、現地で担当者の説明を受けた。集荷、宅配、移動販売などの取り組み、販売促進活動、出荷促進活動、出荷登録者

今回の4カ所の視察を決して無駄にすることなく、得られた特色あるそれぞれの地域への効果を、あらゆる場面をとらえて伝えていきたい。



山口県の「道の駅ソーネ周南」で、市役所の担当者から説明を受ける産業建設常任委員

教育民生常任委員会

図書館整備に向け検討

町内3カ所の図書室などを調査

（資源）みを処理する）ストックヤード施設と火葬場の調査を実施した。ストックヤードは、缶・瓶・ペットボトルほかのリサイクルを目的に町社協に運営委託している。今後、人口減に伴う資源物の減少、施設や機械の老朽化への対応が課題ということだった。

火葬場は昭和60年度に設置され、平成19年度に火葬炉を改修した。嘱託

職員1人で年間100体前後火葬している。施設の老朽化、職員の高齢化に伴い、今後、広域化も含めた運営体制の検討が必要だ。

次に文化館・上ノ加江公民館・大野見青年の家の3カ所の図書室を調査した。蔵書数は3カ所で約3万2500冊ある。

今後、図書館整備計画策定委員会を設置し、検討するとの報告を受けた。



教育委員会から今後の図書室への考え方の説明を受ける教育民生常任委員

新庁舎2020年秋の完成目指す

池田町長の行政報告

●平成31年度予算編成方針

重点施策には、「海の力・山の力・川の力、協働でつくる誇りの持てるまち」に基づき取り組む。

●公共施設の移転事業

用地整備工事は全て完了した。12月3日に新庁舎建設工事の起工式が行われ、2020年秋の完成に向け工事を進めていく。

●行政懇談会

9月25日から10月29日まで23会場で開催し、138人の参加を頂いた。

●防災行政

11月4日、一斉避難訓練が行われ1551人が参加した。防災関連工事では、矢井賀地区で県道から高台に続く避難路の改良工事に着手した。その他、住宅耐震工事22件、ブロック塀耐震事業14件、家具の転倒防止対策は29件に上った。

●道の駅なかとさ

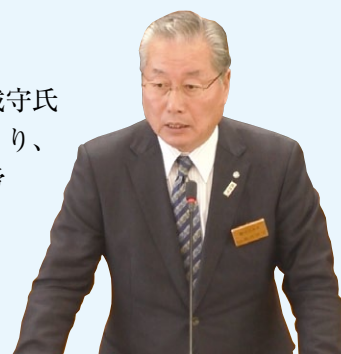
開業から1年5カ月を迎え、累計来場者約47万人、全体売上高5億円に達する見込みだ。最終的な収益は約500万円の黒字になった。しかし、今後一層の経営努力が必要と感じている。

●外国客船モニター・駐日大使視察ツアー

10月20日、外国船乗組員のモニターツアー、10月26日に駐日大使の視察ツアーを実施した。改めて町の魅力を再認識していただいた。

●中城守氏表彰

前教育長の中城守氏が文部科学大臣より、地方教育行政功労者表彰を受けた。



12月定例会での池田町長



左から中城議長、準優勝の池田善彦さん、優勝した西村源明さん、第3位の味元磯江さん、福永副議長

12月18日、老連グラウンドゴルフ部や社会福祉協議会の協力のもと「第11回議長杯グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

議員12人全員と23人の町民の皆さんが、和気あいあいと交流を深めることができました。

浅口市議会・仁淀川町議会の皆さんが本町を視察



上が浅口市議会、下が仁淀川町議会の皆さんとの意見交換

10月17日、岡山県浅口市議会、11月28日には、仁淀川町議会の皆さんが本町を訪れました。

浅口市議会の皆さんは防災対策や道の駅、仁淀川町議会の皆さんは本町議会のインターネット中継システムを視察し、意見交換を行いました。

「ありゃ どうなっちゃうぜよ」 追跡

今号では、下元議員が平成29年12月定例会で質問した「久礼中島地区の液状化」の質問を追跡しました。

【平成29年12月定例会】

問 地域防災計画の被害想定に液状化による被災がある。中島・末広町は、元は田であった。2号避難タワー（八千代タワー）、久礼小学校に上る避難路までの避難する道路等の耐震強度の調査が必要ではないか。



地質調査の様子と（左）と八千代タワーから望む中島地区（右）



山田建設課長 県が公表している液状化可能性予想図では、久礼地区は液状化の可能性がないことになっている。このため、おおむね道路機能は確保できると想定している。調査はしていないので、関係機関等から指導を受けながら、住民の不安を取り除くため、調査の検討をしたい。

最大沈下量
道路部 15・8 セン
民地側 14・1 セン
差 1・7 セン
（建設課）

■その後の対応
以前のボーリングデータを利用して検討を行い、地表面の沈下量を算出したが、液状化では避難に支障が生じない程度という結果となった。

子育て支援や後継者対策の議論を！ 町内の商店のことも考えて！

声

昨年度実施した議会広報アンケートの中から、町民の皆さまの「声」をご紹介します。

★子育て支援や、地域の大切さを子どもにしっかり教え、若者を地域で育てること。地元の人しかできないことなど、後継者を育てる対策を真剣に議論してほしい。

大変重要な問題と考えています。しかし、解決が難しい課題でもあります。学校では「ふるさと学習」も行っていますが、若者の流出に歯止めがかかりません。後継者不足も深刻さを増すばかりです。

議会でも「子育て支援」などの先進地を視察し研修も行っています。一般質問でも町の政策を問うものや奨学資金など個別の質問は行っていますが、その課題の総合的な提案に至っていないのが現実です。

★道の駅を造ることもよいが、町内の商店のことも考えてほしい。

自動車の普及による勤務地の遠隔化などにより、近隣の大型店で買い物を済ませるなど、町内の商店は厳しさを増すばかりです。議会でも、町内商店育成の質問もありますが、それが町の政策に反映されていないのが現実です。「道の駅」が、設置目的のとおり、町内各産業に波及効果をもたらすよう、議会としても提案を続けなければならぬと考えています。

執行部に、これらの政策を実現させるには、議員個々がさらに勉強し、「質問力」を上げ、「提案型」の質問ができるようになっていなければならぬと考えています。



中城重則議長

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況(平成30年10月1日～平成30年12月3日)》

日付・会議等		議員名	黒原昭一	山本建生	山下世仁子	岡伊三男	本井康介	松下裕之	下元道夫	佐竹敏彦	窪田和教	高橋雄造	福永守恭	中城重則
10月 4日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月12日	第12回高幡町村議会議長会親睦体育大会（梶原町）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月15日	平成30年度行政実務研修（高知城ホール）		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
10月17日	産業建設常任委員会（中土佐庁舎・町内）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月18日	第59回四国地区町村議会議長会研修会（県民文化ホール）		○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○
10月19日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月25日	平成30年度トップセミナー（県民文化ホール）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月26日	総務常任委員会（中土佐庁舎・町内）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月29日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎・町内）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月30日 31日	地方議員研究会（東京都）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月 5日	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第3回臨時会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月 6日 7日	産業建設常任委員会（山口県・広島県）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月 8日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎・町内）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月13日 14日	地方議員研究会（京都府）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月16日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 3日	議会運営委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 7日	12月定例会〈1日目〉（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月11日	12月定例会〈2日目〉（中土佐庁舎）		○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月12日	12月定例会〈3日目〉（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月14日	12月定例会〈4日目〉（中土佐庁舎）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月18日	第11回議長杯グラウンドゴルフ大会（大野見奈路グラウンドゴルフ場）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 ▲・・・他の公務による途中退席 /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゅうが？

《議長的主要活動状況（平成30年10月1日～平成30年12月31日）》

●10月

- 2 日 なくせじん肺全国キャラバン訪問【(代理)副議長】(中土佐庁舎)
- 3 日 平成30年第2回(10月)高幡東部清掃組合議会定例会【議長・議選組合委員】
(高幡東部清掃組合)
- 8 日 久礼保育所運動会
- 17日 岡山県浅口市議会視察受入【議長・総務常任委員長・産業建設常任委員長】
- 21日 第13回大野見しんまいフェスタ(J A 四万十大野見支所)
- 23日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会四国地方整備局へ要望(香川県／サポート合同庁舎)
- 27日 新越知町制60周年記念式典(越知町)
- 28日 第9回北地区ふれあい運動会(旧北小学校グラウンド)

●11月

- 1 日 高知県戦没者追悼式(県民文化ホール)
- 3 日 上ノ加江地区民運動会(上ノ加江中学校)
- 7 日 四国横断自動車道高知県建設促進期成会国土交通省・国会議員へ要望(東京都／国土交通省ほか)
- 9 日 第70回関東高知県人大懇親会(東京都／東武ホテルレバント東京)
- 11日 明治150年記念式典(高知市／高知ちばさんセンター)
- 17日 一般国道56号線片坂バイパス開通式・祝賀会(四万十町・黒潮町)
- 19日 地方議会活性化シンポジウム(東京都／シェラトン都ホテル東京)
- 20日 県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会(東京都／ホテルルポール麹町)
- 21日 第62回町村議会議長全国大会(東京都／NHKホール)
中土佐分署消防用指揮車・救助資機材の贈呈式並びに入魂式【(代理)副議長】(久礼八幡宮ほか)
- 22日 第12回高幡町村議会議長会県外研修(千葉県)
- 28日 仁淀川町議会視察受入
- 30日 忠霊塔周辺整備工事完成に伴う神事(忠霊塔前広場)

●12月

- 3 日 新庁舎起工式(町内)
高知県町村議会議長会理事会(高知市／自治会館)
- 5 日 高幡広域市町村圏事務組合との打ち合わせ(中土佐庁舎)
- 6 日 平成30年第3回(12月)高幡東部清掃組合議会臨時会【議長・議選組合委員】
(須崎市／総合保健福祉センター)
平成30年第2回津野山養護老人ホーム組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
平成30年第2回高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
第58回高幡障害者支援施設組合議会定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
平成30年12月高幡広域市町村圏事務組合議会臨時会(須崎市／総合保健福祉センター)
高幡消防組合議会第141回定例会(須崎市／総合保健福祉センター)
- 7 日 救急車入魂式(久礼八幡宮ほか)
- 15日 美術館大賞展表彰式並びに祝賀交流会(文化館・黒潮本陣)
- 21日 高幡西部養護老人ホーム組合議会(文化館)



安倍首相も出席した第62回町村議会議長全国大会(11月21日)



千葉市役所で買い物弱者対策などへのドローンの運用などを研修した高幡町村議会議長会県外研修(11月22日)

(今号の表紙)



今年度の「議会だより」の表紙の写真は「地域で頑張る仲間」を取り上げています。

今回は、矢井賀地区でモーニングづくりにかわる仲間たちです。

矢井賀地区の人口は、平成18年12月末の363人から130人減少し、233人(12月末現在)となっており、高齢化率は62%にも上ります。

矢井賀の「モーニング」は、地域のつながりを深めようと、地元の女性たちが11年前に始めました。「モーニング」は、第5土曜日を除く毎週土曜日に、矢井賀高齢者コミュニティセンターで行われています。

の二つのグループが行っていました。昨年12月、「矢井賀をよくする会」として一つにまとまり、今は8人のメンバーが交代で行っています。毎回40人前後の人が集まっており、志和からも常時4人の方が、上ノ加江・久礼・大野見からもおいでになるということです。



モーニングの会場の矢井賀高齢者コミュニティセンター



地元で好評のちらし寿司や野菜の販売



多くのお客さんで賑わうモーニング

矢井賀をよくする会の皆さんから

大野見も矢井賀に見学に来て始めた。他のところにもあったらいいと思う。イベントのときなどは、地元との交流のため、議員もぜひ足を運んでほしい。



取材当日に担当していた「矢井賀をよくする会」のメンバーの皆さん

つぶやき

5年前、新人議員として、初めての一般質問を終え、興奮冷め止まぬまま「つぶやき」を書いた。その時は「いつまでも新人ではないぞ」と自分に言い聞かせるように書いた記憶がある。

この5年間で、新港背後地開発や庁舎移転問題など長年の懸案事項が解決し順調に計画が進行している。

1期目は、議案審議だけでなく、庁舎位置を決める住民投票条例廃止議案や修正動議などが数多く提出され、賛否が拮抗した緊張感ある議会であつたように思う。

任期満了に伴う選挙により3人が新たな議員となり、早1年が過ぎた。今度の議会も論客そろいで、よく勉強されており執行部も油断はできない。

大変刺激を受けた1年となった。新たな決意をもって、平成から次の新しい時代を迎えたい。

中土佐町議会議員 黒原 昭一

中土佐町議会広報常任委員会

委員長	下元 道夫
副委員長	窪田 和教
委員	山本 建生
	高橋 雄造